



# すずかけ

4月号 高松市立川東小学校 2022.4.6



## 校長だより

### 子どもが主役の「川東劇場」開演

希望に満ちた新年度のスタートを祝うかのように、龍満池や校庭の桜の花が美しく咲いています。川東小学校は本年度 13 学級、288 名の児童、28 名の教職員でスタートします。学校教育目標は「人間性豊かで、主体的にたくましく生きる児童の育成」です。

今日の始業式 (TV 放送) で子どもたちに、「あなたが主役です」と話し、学校をつくる主体者は一人一人の子どもであり、学級をつくり、学校をつくるのはあなたたちなのだ伝えました。

主役次第で演劇作品は楽しくすばらしいものになるように、学校生活は自分たちのアイデアと行動力次第でもっともっと楽しく変えられるのだという希望を、さらなる意欲化へ結びつけたいと思います。その一つとして、係や委員会活動等の特別活動において、子どもの発想やアイデアを大切にしそれを生かし、子どもの中心の創造活動を進めていきます。

また、主役がせりふを覚えなければ演劇は成り立ちません。それは主役としての最低限の責任であり、自覚をもって努めなければなりません。同じく、「自分の学習、活動なのだから自分がしなければならぬ」という責任と自覚、主役としての構えを子どもたちに育てることが必要です。授業においても受け身ではなく、自ら課題をもって考え、主体的に学ぼうとする「子どもが主役」の川東スタイル授業をさらに推進していきます。当然のことながら演技するうえで主役には豊かな表現力が求められます。考えを話し、聞き、言葉にして表現し、伝え合う活動を通して、言語力や表現力を育てていきます。

そして、活動の最後には、「先生に言われてした」「ただ何となく終わった」ではなく、「頑張ってたかった」、「ぼくができた、私がやった!」というやりきった感をもつことができるようにし、それを自己有能感、自信へとつなげていけます。

ここで大切なことは、「一人一人が主役」だということです。それぞれの主役の「持ち味」を生かせる舞台を用意する、つまり、「持ち味」を発揮できる活動の場「持ち場」が多様に保障された学校・学級づくりを行うことが重要です。その中で子どもは、自分の存在が認められることや、自分の活動によって何かを変えたり、社会をよりよくしたりできる実感を持ち、主役としての意欲や自覚、表現力、有能感を高めていきます。

私たち教職員は、黒子、スタッフ、演技指導、演出家として、主役を支え、育てるために力を尽くします。ご家庭や地域の皆様もスタッフのお一人として、主役を支え、育てるべく、お力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。この1年、288 名の主役が演じ繰り広げる「川東劇場」。どんな成長を見せてくれるか、その姿を楽しみに、ともに支援していきましょう。



### 健康診断について

4月からすぐに健康診断が始まります。眼科、耳鼻科、歯科等の受診をお願いする手紙を持ち帰った場合は、できるだけ早く受診していただくようお願いいたします。



### 携帯電話の使用・持ち込みについて

本校では携帯電話の使用・持ち込みに関して、原則禁止としております。特段の理由がある場合は、許可申請書を担任から受け取り、必要事項をご記入の上ご提出ください。許可申請書の有効期間は年度末となっております。前年度にご提出している方についても、お手数ですが、再度ご提出ください。